

<参考>高さ方向の鉄道騒音の予測結果

中高層建物への影響を考慮した高さ方向の工事の完了後における、列車の走行に伴う鉄道騒音の予測を行った。予測地点は図 2.1.2-8 に示すとおり、計画線最寄り軌道中心から水平方向に 12.5m、地上からの高さが 1.2m、3.5m、5m、10m 及び 15m の 5 地点とした。

予測手法は、「2.1.2 予測 (1) 鉄道騒音の予測方法 イ 工事の完了後」と同様とした(資料編 112 ページ参照)。

高さ方向の鉄道騒音の予測結果は、表 2.1.2-10 に示すとおりである。

表 2.1.2-10 (1) 鉄道騒音の高さ方向の予測結果 (昼間：7～22 時)

予測地点	区 分	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)				
		計画線最寄り軌道中心から水平距離 12.5m				
		1.2m	3.5m	5 m	10m	15m
T-1	予測値	56	58	59	65	71
	現況値	69	73	73	74	72

表 2.1.2-10 (2) 鉄道騒音の高さ方向の予測結果 (夜間：22～7 時)

予測地点	区 分	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)				
		計画線最寄り軌道中心から水平距離 12.5m				
		1.2m	3.5m	5 m	10m	15m
T-1	予測値	52	53	54	61	66
	現況値	65	69	69	69	68

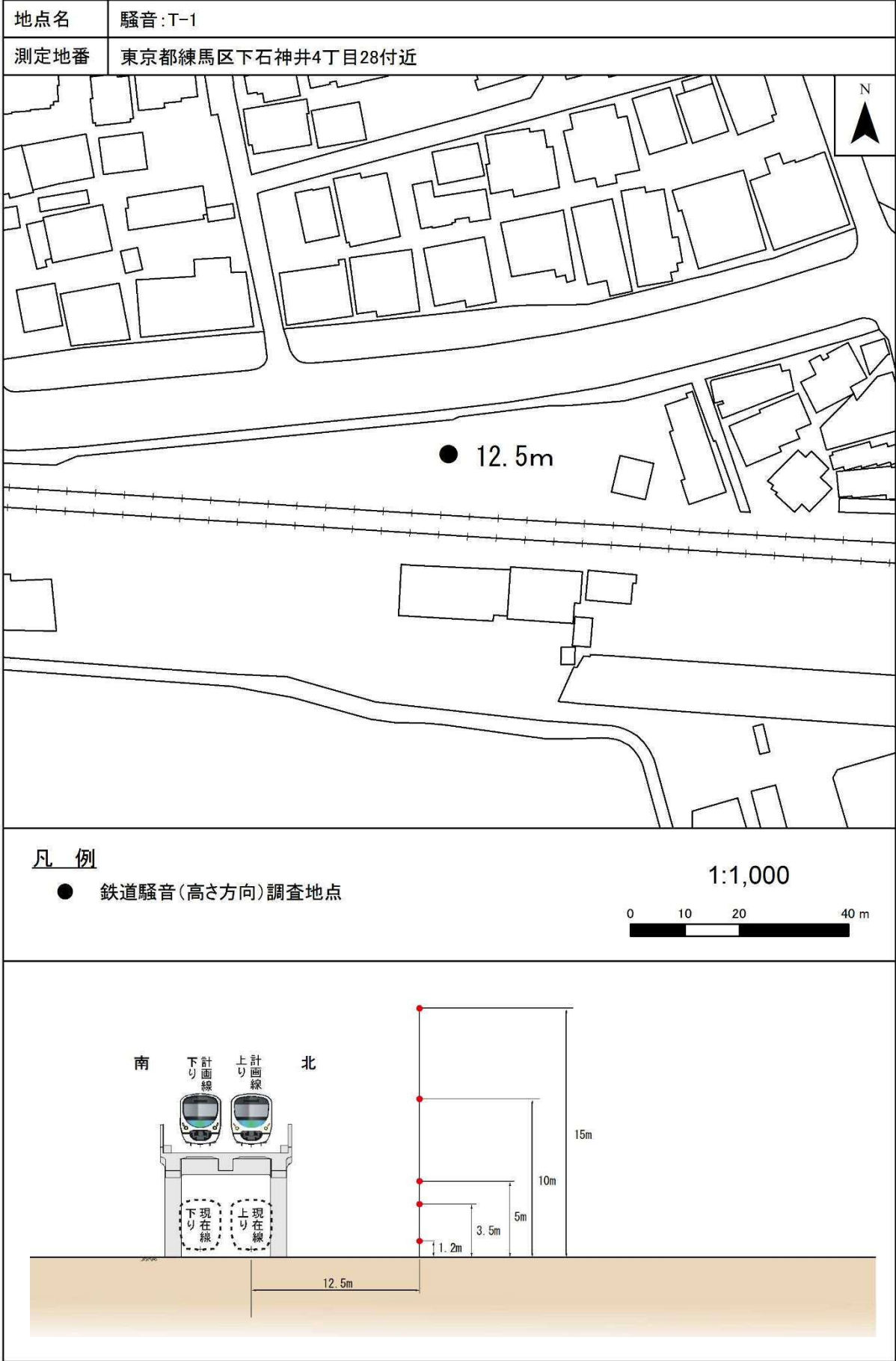


図 2.1.2-8 鉄道騒音予測地点 (地点 T-1)

2.1.3 環境保全のための措置

(1) 騒音の対策

鉄道騒音に対する措置として表 2.1.3-1 に示す対策を行う。

表 2.1.3-1 鉄道騒音の対策効果

対策内容	対策効果	予測への反映	出典
ロングレール化	転動音に対し -4 dB (平均)	○※1	「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」 (昭和 56 年 7 月 東京都北区建築公害部公害課)
レール重量化	転動音に対し -4 dB (70km/h)	○※1	「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」 (昭和 56 年 7 月 東京都北区建築公害部公害課)
弾性バラスト軌道	構造物音に対し -10 dB	○※1	「弾性まくらぎ直結軌道の開発」 (平成 15 年 10 月 第 164 回 鉄道総研月例発表会 (財) 鉄道総合研究所 軌道技術研究部 堀池高広)
レール削正	転動音に対し -8 dB		「在来線における転動音低減のためのレール凹凸管理手法」 (平成 14 年 4 月 鉄道総研報告 須永陽一ら)
吸音性遮音壁	転動音に対し -2~-3 dB		「音と環境と制御技術第Ⅱ巻応用技術」 (平成 11 年 10 月 株式会社フジ・テクノシステム)

※1 予測式は、ロングレール、レールの重量化及び弾性バラスト軌道となっていることが前提であるため、対策効果は既に予測式に含まれている。

※2 これらの数値は、それぞれ単独実施の場合のものであり、同時に実施した場合の効果は、数値の合計とは一致しない。

ア ロングレール化の効果

継ぎ目の有無による騒音の測定結果を比較した結果は、表 2.1.3-2 に示すとおりである。

表 2.1.3-2 ロングレール化の効果 (地平区間)

測定区間		継目無 (dB)	継目有 (dB)	低減量 (dB)
		①	②	①-②
上下別	上り (反対側)	86	88	-2
	下り (測定側)	83	89	-6
東北本線	下り (測定側)	84	88	-4

※1 調査地点は東北本線の東十条駅付近から大宮方面に向って約 500m の区間

※2 位置は東北本線の下り (測定側) 軌道中心から約 23m の位置

※3 測定値は測定した列車本数の平均値

出典：「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」(昭和 56 年 7 月 東京都北区建築公害部公害課)

イ レール重量化の効果

50kg/m レール区間と 60kg/m レール区間で鉄道騒音の測定結果を比較した結果は、表 2.1.3-3 に示すとおりである。

表 2.1.3-3 レールの重量化による鉄道騒音の低減効果（地平区間）

測定区間		60kg/mレール 区間測定値(dB)①	50kg/mレール 区間測定値(dB)②	低減量(dB) ①-②
上下別	上り(反対側)	77	82	-5
	下り(測定側)	77	81	-4

※1 調査地点は東北本線の王子駅付近から大宮方面に向かって約500mの区間

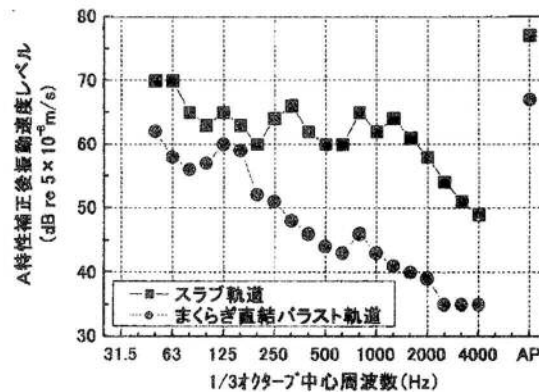
※2 位置は東北本線の下り(測定側)軌道中心線から約23mの位置

※3 測定値は測定列車の平均値

出典：「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」（東京都北区建築公害部公害課 昭和56年7月）

ウ 弾性バラスト軌道の効果

弾性バラスト軌道と隣接して敷設されたスラブ軌道の騒音を比較した結果は、図 2.1.3-1 に示すとおりである。弾性バラスト軌道では、全周波数領域において4dB～23dB、オールパス値(AP)で10dB小さいことが確認されている。



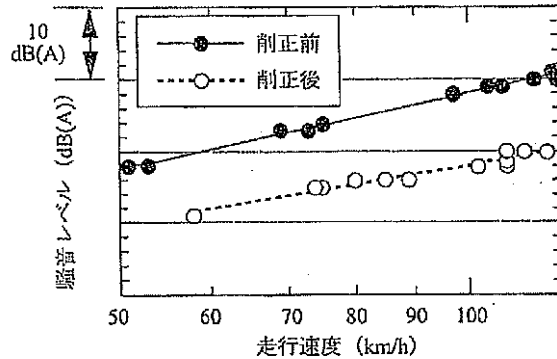
※ 図中のまくらぎ直結バラスト軌道は弾性バラスト軌道のことである。

出典：「弾性まくらぎ直結軌道の開発」（平成15年10月 第164回 鉄道総研月例発表会
(財)鉄道総合技術研究所 軌道技術研究部 堀池高広)

図 2.1.3-1 弾性バラスト軌道の騒音低減効果

エ レール削正の効果

レール削正前後において、レールから2m離れて測定した、騒音レベルと走行速度との関係は、図 2.1.3-2 に示すとおりである。



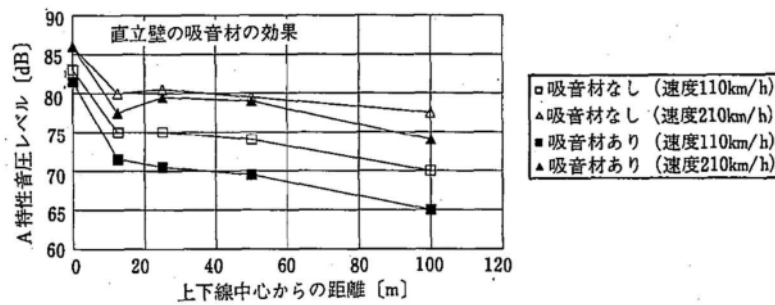
出典：「在来線における転動音低減のためのレール凹凸管理手法」（平成 14 年 4 月 鉄道総研報告）

図 2.1.3-2 レール削正前後におけるレール近傍騒音

オ 吸音性遮音壁

遮音壁の吸音材の騒音低減効果は、図 2.1.3-3 に示すとおりである。

吸音材のある遮音壁は、吸音材がないものと比較して、高架橋の高さが約 8 m の場合に、地上 1.2m の受音点において騒音レベルを 2 dB～3 dB 程度低減させる効果があることが確認されている。



出典：「音と環境と制御技術第Ⅱ巻応用技術」（平成 11 年 10 月 株式会社フジ・テクノシステム）

図 2.1.3-3 遮音壁の吸音材の騒音低減効果

(2) 振動の対策

鉄道振動に対する措置として表 2.1.3-4 に示す対策を行う。

表 2.1.3-4 鉄道振動の対策効果

対策内容	対策効果	出典
ロングレール化	-6 dB (平均)	「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」 (昭和 56 年 7 月 東京都北区建築公害部公害課)
レール削正	-2 dB (70km/h)	「在来線における転動音低減のためのレール凹凸管理手法」 (平成 14 年 4 月 鉄道総研報告 須永陽一ら)
レールの重量化	-2 dB (12.5~25m地点)	「地盤振動対策の研究開発の現状」 (昭和 14 年 12 月 鉄道総研報告 芦屋公稔、横山秀史)

※ これらの数値は、それぞれ単独実施の場合のものであり、同時に実施した場合の効果は、数値の合計とは一致しない。

ア ロングレール化の効果

継ぎ目の有無による振動の測定結果を比較下結果は、表 2.1.3-5 に示すとおりである。

表 2.1.3-5 ロングレール化による騒音低減効果（地平区間）

上下別	測定区間	継ぎ目無①	継ぎ目有②	低減量 ①-②
	東北本線	上り (反対側)	59	61
下り (測定側)		59	67	-8
京浜東北線	下り (測定側)	51	57	-6

※ 1 調査地点は、東北本線の王子駅付近から大宮方面に向かって約 500m の区間

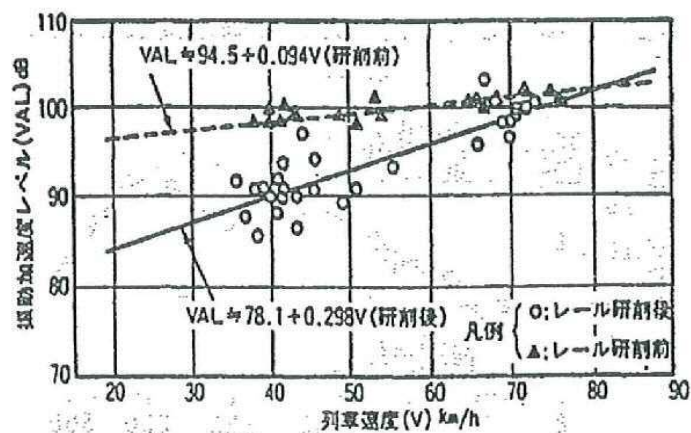
※ 2 位置は、東北本線の下り (測定側) 軌道中心から約 23m の位置

※ 3 測定値は、測定列車の平均値

出典：「在来線鉄道騒音・鉄道振動調査報告」(昭和 56 年 7 月 東京都北区建築公害部公害課)

イ レール削正の効果

レール表面の削正前後の測定結果は、図 2.1.3-4 に示すとおりである。



出典: 「波状摩耗レールの騒音・振動」(昭和 61 年 近鉄速報 117 村田祐計ら)

図 2.1.3-4 レール削正の振動低減効果

ウ レールの重量化

在来線において、50kg/m レールから 60kg/m レールに交換し、重量化を行った結果、12.5m ~25m 地点で約 2 dB の振動低減効果が確認されている。

出典: 「地盤振動対策の研究開発の現状」(平成 14 年 12 月 鉄道総研報告 芦谷公稔、横山秀史)

2.1.4 鉄道騒音の測定本数の検討

(1) 目的

「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」(平成7年12月 環大一第174号)に示された鉄道騒音の測定方法においては、原則として、当該路線を通過する全列車(上下とも)を対象とし、通過列車ごとの騒音の単発騒音暴露レベル(L_{AE})を測定することとされている。

ただし、「通行線路(上下等)、列車種別、車両型式、走行時間帯(混雑時には列車速度が低くなる場合がある。)等による騒音レベルの変動に注意しつつ、測定を行う列車の本数を適宜減じて加重計算しても良い」とある。

また、測定する列車本数については、「ちょうせい第5号」(平成8年度 総務省公害等調整委員会)の資料によると「全列車の10%~20%程度を測定すれば±1dBの誤差で L_{Aeq} を推定することが可能である」とされていることから、今回、全列車(612本)の約20%(130本)を測定列車本数と設定した。

上記の測定列車本数の妥当性を検証するため、R-4の計画線最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、高さが1.2mの地点において全列車測定を行い、始発から終電までの全データで求めた等価騒音レベルと任意の時間帯に測定したデータから求めた等価騒音レベルの比較を行った。

(2) 調査方法

測定方法及び評価については、以下のとおりである。

- ① 該当路線を通過する全列車(上下とも)を対象とし、周波数補正回路をA特性に合わせ、通過列車ごとの騒音の単発騒音暴露レベル(L_{AE})を設定する。
- ② 全列車(612本)と全列車の約20%(130本)の単発騒音暴露レベルの平均値を、任意の時間ごとに求め比較する。
- ③ 単発騒音暴露レベル(L_{AE})から等価騒音レベル(L_{Aeq})の算出は次式によるものとした。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \left(N \cdot 10^{\frac{L_{AE}}{10}} / T \right)$$

- L_{Aeq} : 等価騒音レベル (dB)
 N : 対象としている時間帯の列車本数 (本)
 L_{AE} : 各列車本数の単発騒音暴露レベルの平均値 (dB)
 T : L_{Aeq} の対象としている時間帯(昼間、夜間)の時間
昼間(15時間: 7時~22時) = 54,000(秒)
夜間(9時間: 22時~7時) = 32,400(秒)

- ④ 測定機器は「計量法」(平成4年法律第51号)第71条の条件に合格したものを使用した。

(3) 調査結果

ア 運行状況

当該調査地点の運行状況は以下のとおりであった。

- ・列車種別は、特急、拝島ライナー、通勤急行、急行、準急、各停及び回送の7種類である。
- ・列車種別のうち上石神井駅に停車するのは通勤急行、急行、準急及び各停の4種類である。
- ・走行している列車種別の時間帯別の列車本数は、表 2.1.4-1 に示すとおりである。

表 2.1.4-1 列車種別及び時間帯別の列車本数

単位：本

列車種別 時間	上り								下り								合計
	特急	拝島ライナー	通勤急行	急行	準急	各停	回送	合計	特急	拝島ライナー	通勤急行	急行	準急	各停	回送	合計	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
5	0	0	0	1	2	2	0	5	0	0	0	0	0	4	0	4	9
6	2	0	0	6	1	7	1	17	0	0	0	2	3	6	2	13	30
7	1	0	1	7	7	9	0	25	2	0	0	6	1	8	2	19	44
8	3	0	1	5	6	6	0	21	0	0	0	9	7	7	0	23	44
9	1	0	0	7	2	6	0	16	2	0	0	6	3	7	1	19	35
10	1	0	0	7	0	6	0	14	1	0	0	7	0	7	2	17	31
11	1	0	0	6	0	6	0	13	2	0	0	6	0	6	0	14	27
12	1	0	0	6	0	6	0	13	1	0	0	6	0	6	0	13	26
13	1	0	0	6	0	6	0	13	1	0	0	6	0	6	0	13	26
14	1	0	0	5	0	6	0	12	1	0	0	6	0	6	0	13	25
15	1	0	0	6	0	6	0	13	1	0	0	5	0	6	0	12	25
16	2	0	0	7	0	7	1	17	1	0	0	7	0	6	0	14	31
17	2	0	0	7	3	8	1	21	2	1	0	7	1	7	1	19	40
18	2	0	0	6	5	5	2	20	2	1	0	6	3	6	0	18	38
19	2	0	0	7	2	6	3	20	2	1	0	6	3	6	0	18	38
20	2	0	0	4	3	7	2	18	2	1	0	6	3	5	1	18	36
21	2	0	0	4	4	5	2	17	2	1	0	6	2	6	1	18	35
22	2	0	0	5	2	5	3	17	2	1	0	7	1	8	1	20	37
23	2	0	0	0	4	3	3	12	2	0	0	5	1	5	0	13	25
0	0	0	0	0	2	0	1	3	1	0	0	0	4	0	0	5	8
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
昼間	23	0	2	90	32	95	11	253	22	5	0	95	23	95	8	248	501
夜間	6	0	0	12	11	17	8	54	5	1	0	14	10	24	3	57	111
終日	29	0	2	102	43	112	19	307	27	6	0	109	33	119	11	305	612

※1 昼間7時～22時、夜間22時～7時

※2 他社線の乗り入れはない。

※3 上下線の同時通過等により、全体列車の8%程度については、単発騒音暴露レベルが測定できなかった。

なお、本検討において、測定できなかった列車については、測定して得られた上下別の単発騒音暴露レベルのパワー平均値を代入して検討を行った。

イ 単発騒音暴露レベルの平均値

全列車と全列車の20%程度(130本)の列車の単発騒音暴露レベルの平均値を比較するため、始発から130本の単発騒音暴露レベルを求め、次に、始発の次の列車から130本の列車の単発騒音暴露レベルの平均値を算出するという方法を終電車まで繰り返して算出した結果を図2.1.4-1に示す。

なお、始発から終電までの全列車の単発騒音暴露レベルの平均値は、85.1 dBであった。

任意の時間帯における全列車の約20%(130本)の列車の単発騒音暴露レベルの平均値は、84.1 dB~86.1 dBであり、これにより、どの時間帯から測定しても、全列車の単発騒音暴露レベルの平均値の±1 dBの範囲内に収まることを確認した。

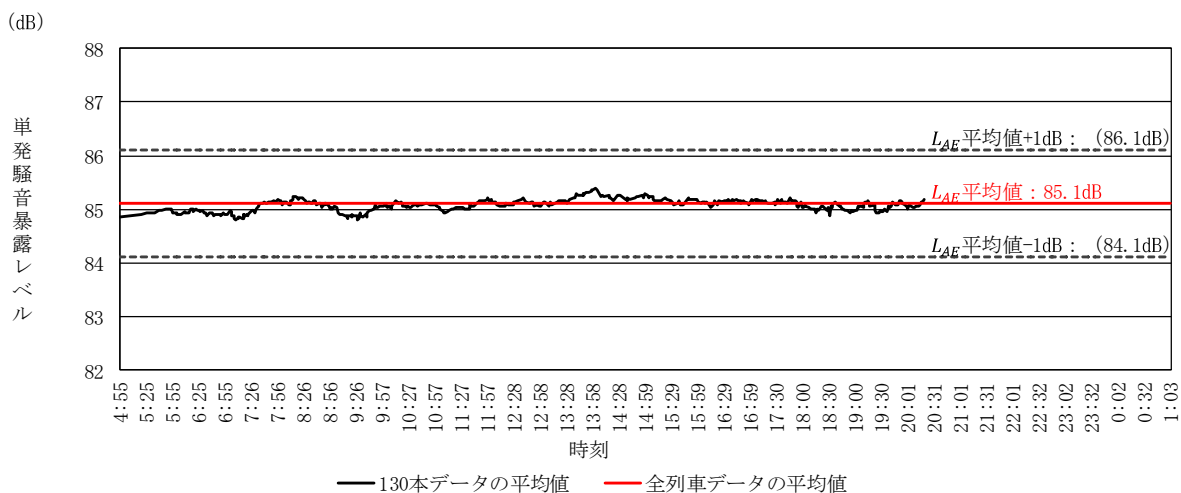


図 2.1.4-1 単発騒音暴露レベルの平均値

ウ 等価騒音レベル (L_{Aeq}) の算出結果

全時間帯の単発騒音暴露レベル (L_{AE}) の平均値から求めた等価騒音レベル及び図 2.1.4-1 (資料編 149 ページ参照) に示す 130 本の単発騒音暴露レベルの平均値のうち、最大値と最小値を使用して等価騒音レベルを算出した結果は表 2.1.4-2 に示すとおりである。その結果、全列車と最大の時間帯でも最小の時間帯でも大きな差は見られなかった。

表 2.1.4-2 等価騒音レベルの比較

項 目	等価騒音レベル (dB)		全列車結果との差 (dB)	
	昼間	夜間	昼間	夜間
全列車	65	61	—	—
130 本	最大	65	0	0
	最小	64	1	1

(4) 測定本数について

以上の結果から、全列車の 20%程度 (130 本) で測定を行えば、全列車で測定した場合の等価騒音レベルとほぼ変わらないことが確認できた。

(5) 調査結果一覧

全列車のピーク騒音レベル (L_{Amax}) 及び単発騒音暴露レベル (L_{AE}) の測定結果は、表 2.1.4-3 に示すとおりである。

表 2.1.4-3 (1) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
1	4:55	下	各停	N2000	10	77	79.5	88.5
2	5:19	上	準急	20000	10	72	74.8	83.1
3	5:26	下	各停	N2000	8	84	73.9	81.5
4	5:36	上	準急	6000	10	72	77.7	85.4
5	5:41	下	各停	30000	8	81	79.6	85.0
6	5:44	下	各停	20000	10	81	73.4	81.3
7	5:48	上	各停	30000	8	71	73.7	81.4
8	5:54	上	急行	N2000	10	72	79.6	88.5
9	5:56	下	各停	N2000	8	77	79.0	86.7
10	5:59	上	各停	30000	8	73	69.9	78.2
11	6:00	上	回送	N2000	10	50	73.4	85.6
12	6:01	下	準急	20000	10	79	-	-
13	6:05	上	急行	2000	10	74	79.7	88.1
14	6:10	上	各停	N2000	8	73	78.1	86.6
15	6:11	下	各停	20000	8	79	73.4	81.2
16	6:15	上	急行	30000	10	64	72.2	80.8
17	6:16	下	回送	N2000	8	61	74.4	82.6
18	6:19	下	準急	6000	10	72	78.3	87.1
19	6:20	上	各停	N2000	8	-	-	-
20	6:23	上	急行	N2000	10	66	75.3	84.6
21	6:24	下	各停	20000	8	78	72.6	80.5
22	6:27	下	回送	2000	10	78	79.6	87.3
23	6:28	上	各停	30000	8	73	69.7	78.1
24	6:30	下	準急	N2000	10	78	79.4	87.8
25	6:32	上	各停	N2000	8	49	72.4	81.2
26	6:34	上	急行	N2000	10	69	79.1	88.1
27	6:35	下	各停	20000	8	54	72.3	80.1
28	6:38	上	各停	N2000	8	51	73.0	82.4
29	6:39	上	特急	10000	7	80	77.3	83.9
30	6:42	下	急行	2000	10	75	79.3	87.3
31	6:43	上	急行	30000	10	74	69.9	79.5
32	6:45	下	各停	30000	8	87	75.5	82.7
33	6:47	上	各停	20000	8	77	73.4	81.1
34	6:51	上	特急	10000	7	83	82.7	89.0
35	6:51	下	急行	30000	10	80	74.3	81.3
36	6:53	下	各停	30000	10	55	70.1	79.0
37	6:54	上	準急	2000	10	69	77.0	86.4
38	6:55	下	各停	30000	8	76	80.4	85.3
39	6:56	上	各停	N2000	8	25	71.5	78.5
40	6:57	上	急行	6000	10	22	67.7	79.1
41	7:00	上	各停	20000	8	24	63.2	71.8
42	7:02	下	急行	N2000	10	78	78.6	86.5
43	7:03	上	特急	10000	7	39	84.0	90.9
44	7:03	下	各停	N2000	8	-	-	-
45	7:06	上	準急	N2000	10	73	79.7	90.5
46	7:06	下	各停	N2000	8	-	-	-
47	7:08	上	準急	2000	10	54	73.2	81.5
48	7:10	上	各停	30000	8	25	66.0	73.1
49	7:11	下	急行	N2000	10	78	79.7	88.8
50	7:12	上	急行	N2000	10	27	73.4	81.9

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (2) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
51	7:13	下	各停	2000	10	59	75.6	85.1
52	7:15	上	準急	30000	10	69	70.6	79.9
53	7:17	上	各停	30000	8	27	67.8	75.6
54	7:18	下	各停	N2000	10	77	79.4	88.0
55	7:19	上	急行	20000	10	25	67.2	73.5
56	7:21	下	急行	30000	10	77	69.7	78.4
57	7:21	上	各停	30000	10	-	-	-
58	7:22	下	特急	10000	7	70	70.8	78.6
59	7:23	上	急行	20000	10	25	59.7	72.5
60	7:26	下	各停	30000	8	82	74.7	80.9
61	7:28	下	回送	N2000	8	46	72.5	81.2
62	7:28	上	準急	2000	10	70	78.3	87.1
63	7:30	上	各停	N2000	8	22	63.2	74.4
64	7:32	下	急行	2000	10	78	78.0	86.4
65	7:33	上	急行	N2000	10	45	75.7	84.6
66	7:34	下	各停	N2000	8	75	78.9	86.8
67	7:36	上	各停	20000	8	24	64.7	76.3
68	7:36	下	回送	10000	7	-	-	-
69	7:39	上	準急	20000	10	48	74.1	84.3
70	7:39	下	急行	6000	10	-	-	-
71	7:41	上	通勤急行	40000	10	14	60.4	71.6
72	7:42	下	各停	N2000	8	79	78.5	86.0
73	7:43	上	各停	30000	8	23	73.6	79.9
74	7:45	上	急行	2000	10	17	73.5	82.2
75	7:46	下	準急	2000	10	-	-	-
76	7:48	上	準急	N2000	10	25	66.3	79.1
77	7:49	上	各停	30000	8	8	72.7	80.5
78	7:50	下	特急	10000	7	-	-	-
79	7:52	上	急行	6000	10	21	72.4	81.5
80	7:53	下	急行	20000	10	-	-	-
81	7:54	上	各停	30000	8	23	69.3	77.4
82	7:57	下	各停	N2000	8	79	78.2	86.0
83	7:57	上	準急	2000	10	20	-	-
84	7:59	上	急行	N2000	10	17	63.5	74.6
85	8:01	下	急行	N2000	10	78	80.6	88.6
86	8:02	上	各停	N2000	8	57	74.4	83.6
87	8:03	下	準急	30000	10	91	74.5	82.8
88	8:03	上	急行	2000	10	79	75.5	84.5
89	8:07	下	各停	20000	8	77	72.8	80.4
90	8:09	上	準急	N2000	10	75	80.3	88.9
91	8:09	下	急行	20000	10	72	-	-
92	8:11	上	通勤急行	40000	10	34	73.7	82.6
93	8:11	下	準急	20000	10	81	-	-
94	8:13	下	各停	30000	8	73	70.7	79.2
95	8:14	上	各停	20000	8	47	70.0	78.0
96	8:15	下	準急	2000	10	83	77.4	86.0
97	8:15	上	急行	30000	10	18	67.8	83.8
98	8:18	上	準急	N2000	10	19	68.9	84.8
99	8:19	下	準急	N2000	10	77	78.9	87.2
100	8:20	上	各停	30000	8	19	-	-

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (3) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
101	8:21	下	各停	30000	8	84	71.5	78.3
102	8:22	上	急行	30000	10	23	67.2	77.0
103	8:23	下	急行	20000	10	81	73.5	81.9
104	8:26	下	各停	N2000	8	79	79.0	86.5
105	8:26	上	特急	10000	7	72	80.8	87.8
106	8:28	下	急行	40000	10	69	69.0	78.2
107	8:29	上	準急	N2000	10	77	79.9	89.1
108	8:31	下	急行	N2000	10	79	78.9	87.4
109	8:31	上	各停	N2000	8	56	73.0	82.2
110	8:33	上	急行	N2000	10	71	78.5	86.6
111	8:34	下	各停	N2000	8	76	78.4	85.9
112	8:36	下	準急	N2000	10	74	77.8	87.2
113	8:37	上	特急	10000	7	83	78.6	84.7
114	8:40	下	準急	6000	10	74	75.2	84.3
115	8:40	上	準急	2000	10	71	81.2	89.6
116	8:42	下	急行	2000	10	72	76.3	85.0
117	8:45	下	各停	30000	8	79	73.8	81.0
118	8:47	上	準急	N2000	10	72	80.0	89.2
119	8:47	下	急行	N2000	10	77	78.4	86.8
120	8:49	上	各停	30000	8	43	70.1	79.0
121	8:50	上	急行	30000	10	25	68.9	73.2
122	8:51	下	急行	2000	10	76	79.3	87.2
123	8:53	上	準急	30000	10	6	74.2	83.0
124	8:53	下	準急	N2000	10	-	69.2	78.7
125	8:56	上	特急	10000	7	84	84.0	90.8
126	8:57	下	各停	40000	8	84	74.7	82.1
127	8:58	上	各停	N2000	8	73	77.9	85.8
128	8:59	下	急行	30000	10	80	73.4	80.7
129	9:00	上	急行	N2000	10	34	73.4	82.7
130	9:01	下	準急	30000	10	77	77.8	85.2
131	9:06	上	準急	2000	10	71	81.3	90.9
132	9:06	下	急行	N2000	10	84	-	-
133	9:08	下	準急	30000	10	80	74.6	81.9
134	9:11	上	急行	6000	10	74	80.6	89.2
135	9:14	下	急行	N2000	10	53	73.3	82.9
136	9:16	上	各停	N2000	8	67	79.7	86.9
137	9:17	下	各停	20000	8	66	70.5	78.4
138	9:18	上	急行	20000	10	28	67.7	76.4
139	9:20	下	特急	10000	7	77	79.0	85.8
140	9:21	下	急行	N2000	10	55	72.5	81.5
141	9:22	上	各停	30000	8	72	73.2	81.3
142	9:24	下	各停	30000	8	78	80.0	85.0
143	9:28	上	特急	10000	7	84	83.9	90.2
144	9:28	下	回送	10000	7	-	-	-
145	9:29	上	急行	20000	10	72	74.2	82.8
146	9:32	上	各停	20000	8	72	78.8	88.3
147	9:32	下	各停	N2000	8	-	-	-
148	9:35	上	準急	30000	10	72	71.2	80.2
149	9:38	下	急行	N2000	10	79	79.4	88.5
150	9:39	上	各停	20000	8	4	69.1	77.0

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (4) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
151	9:40	下	準急	30000	10	-	70.5	78.6
152	9:42	上	急行	N2000	10	83	75.3	85.2
153	9:43	下	各停	N2000	8	80	78.4	86.1
154	9:45	上	急行	30000	10	83	66.3	75.4
155	9:47	下	各停	20000	8	88	74.5	82.3
156	9:48	上	各停	30000	8	51	69.9	76.8
157	9:49	下	急行	2000	10	79	79.8	87.5
158	9:50	上	急行	20000	10	75	77.0	84.3
159	9:52	下	各停	30000	8	88	73.6	80.9
160	9:54	下	特急	10000	7	62	72.4	81.0
161	9:55	下	急行	N2000	10	72	75.9	85.1
162	9:58	上	各停	N2000	8	54	72.6	81.7
163	9:59	下	各停	30000	8	87	75.0	82.3
164	10:01	上	急行	6000	10	75	77.6	87.2
165	10:01	下	急行	20000	10	-	-	-
166	10:03	下	回送	6000	10	59	76.2	85.1
167	10:05	下	各停	N2000	8	80	78.4	85.9
168	10:08	下	急行	20000	10	80	73.3	81.6
169	10:08	上	各停	N2000	8	53	72.9	82.5
170	10:12	下	各停	20000	8	81	73.3	81.0
171	10:12	上	急行	N2000	10	75	79.4	87.7
172	10:15	下	特急	10000	7	74	77.7	85.4
173	10:19	下	急行	2000	10	76	79.1	86.9
174	10:19	上	各停	20000	8	55	-	-
175	10:20	上	急行	2000	10	76	79.8	88.2
176	10:20	下	回送	30000	10	-	65.9	72.4
177	10:23	下	各停	N2000	8	78	78.6	86.5
178	10:25	下	各停	30000	8	71	70.1	78.5
179	10:27	上	特急	10000	7	83	82.0	89.2
180	10:28	下	急行	20000	10	79	72.5	81.5
181	10:30	上	各停	30000	8	55	72.9	81.1
182	10:32	下	各停	2000	8	80	73.9	81.6
183	10:33	上	急行	N2000	10	70	78.8	88.2
184	10:38	上	各停	30000	8	55	76.8	85.3
185	10:38	下	急行	6000	10	-	-	-
186	10:39	上	急行	30000	10	71	73.6	81.5
187	10:42	下	各停	30000	8	74	71.6	79.7
188	10:48	上	各停	N2000	8	51	74.0	83.3
189	10:48	下	急行	2000	10	77	79.5	87.3
190	10:52	上	急行	30000	10	74	75.2	85.0
191	10:52	下	各停	30000	8	97	-	-
192	10:58	上	各停	30000	8	56	70.0	77.7
193	10:58	下	急行	2000	10	77	79.6	87.3
194	10:59	上	急行	N2000	10	76	80.2	89.3
195	11:02	下	各停	N2000	8	78	78.5	85.6
196	11:04	上	特急	10000	7	83	81.8	88.8
197	11:08	下	急行	N2000	10	76	79.3	86.8
198	11:08	上	各停	30000	8	-	-	-
199	11:10	上	急行	6000	10	67	73.4	82.4
200	11:12	下	各停	N2000	8	78	78.9	86.3

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (5) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
201	11:14	下	特急	10000	7	63	72.6	81.3
202	11:18	上	各停	30000	8	52	69.6	77.9
203	11:18	下	急行	30000	10	83	73.3	82.5
204	11:19	上	急行	2000	10	73	77.9	87.0
205	11:23	下	各停	20000	8	80	74.2	81.8
206	11:28	上	各停	N2000	8	52	73.7	82.6
207	11:28	下	急行	30000	10	84	73.5	81.9
208	11:30	上	急行	N2000	10	71	78.2	87.4
209	11:32	下	各停	30000	8	88	73.1	81.0
210	11:38	上	各停	30000	8	61	68.2	76.9
211	11:38	下	急行	N2000	10	80	79.1	88.1
212	11:39	上	急行	20000	10	69	75.5	83.0
213	11:42	下	各停	30000	8	76	71.9	80.1
214	11:47	上	各停	20000	8	56	67.4	76.9
215	11:48	下	急行	20000	10	79	73.2	81.8
216	11:49	上	急行	6000	10	74	77.5	85.9
217	11:52	下	各停	N2000	8	80	78.5	86.4
218	11:55	下	特急	10000	7	64	73.8	82.1
219	11:58	上	各停	20000	8	54	68.6	77.8
220	11:59	下	急行	2000	10	76	77.7	86.2
221	11:59	上	急行	20000	10	73	77.5	85.1
222	12:03	下	各停	30000	8	88	82.2	89.3
223	12:03	上	特急	10000	7	-	-	-
224	12:08	上	各停	30000	8	59	79.0	87.4
225	12:08	下	急行	2000	10	77	-	-
226	12:09	上	急行	2000	10	74	79.9	88.0
227	12:12	下	各停	20000	8	70	71.3	79.5
228	12:18	上	各停	20000	8	54	68.8	77.7
229	12:18	下	急行	20000	10	83	74.2	82.6
230	12:20	上	急行	N2000	10	73	79.8	87.8
231	12:22	下	各停	30000	8	76	73.9	80.3
232	12:28	上	各停	30000	8	52	68.1	76.9
233	12:28	下	急行	6000	10	74	75.4	84.2
234	12:29	上	急行	30000	10	72	72.6	82.2
235	12:32	下	各停	N2000	8	78	78.6	86.0
236	12:38	上	各停	30000	8	53	72.1	78.8
237	12:38	下	急行	20000	10	78	72.9	82.0
238	12:39	上	急行	N2000	10	76	80.2	89.7
239	12:42	下	各停	30000	8	82	76.5	83.3
240	12:47	上	各停	30000	8	52	69.6	77.6
241	12:48	下	急行	2000	10	77	79.5	87.3
242	12:49	上	急行	N2000	10	72	79.9	89.3
243	12:52	下	各停	20000	8	81	74.4	82.0
244	12:54	下	特急	10000	7	76	78.3	85.8
245	12:58	上	各停	N2000	8	54	73.9	83.5
246	12:58	下	急行	2000	10	78	79.5	87.2
247	12:59	上	急行	30000	10	66	73.0	81.2
248	13:03	下	各停	20000	8	72	71.3	79.5
249	13:04	上	特急	10000	7	84	82.6	89.7
250	13:08	下	急行	30000	10	81	73.1	82.8

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (6) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
251	13:08	上	各停	30000	8	-	-	-
252	13:10	上	急行	2000	10	62	76.4	85.6
253	13:12	下	各停	30000	8	72	70.7	79.1
254	13:18	上	各停	30000	8	54	74.4	79.7
255	13:18	下	急行	N2000	10	76	78.2	87.3
256	13:20	上	急行	20000	10	73	76.6	84.5
257	13:22	下	各停	20000	8	82	73.5	81.2
258	13:28	上	各停	20000	8	51	69.5	77.8
259	13:28	下	急行	N2000	10	77	79.1	88.1
260	13:29	上	急行	20000	10	72	75.3	84.3
261	13:32	下	各停	30000	8	80	73.1	80.2
262	13:38	上	各停	N2000	8	51	74.0	82.8
263	13:38	下	急行	30000	10	82	74.5	82.6
264	13:40	上	急行	N2000	10	63	79.8	87.4
265	13:42	下	各停	30000	8	77	75.7	82.0
266	13:47	上	各停	20000	8	54	67.6	77.2
267	13:48	下	急行	2000	10	77	77.9	86.4
268	13:49	上	急行	20000	10	73	75.7	84.0
269	13:51	下	各停	30000	8	81	74.9	81.4
270	13:54	下	特急	10000	7	82	79.4	86.4
271	13:58	上	各停	20000	8	53	70.2	78.1
272	13:58	下	急行	20000	10	76	72.9	81.9
273	13:59	上	急行	6000	10	75	77.7	86.4
274	14:03	下	各停	N2000	8	77	79.1	86.5
275	14:04	上	特急	10000	7	77	84.5	90.8
276	14:08	下	急行	20000	10	84	74.2	82.5
277	14:09	上	各停	30000	8	53	71.0	78.1
278	14:10	上	急行	N2000	10	75	80.4	88.5
279	14:12	下	各停	30000	8	79	76.5	83.5
280	14:18	上	各停	N2000	8	51	79.3	88.6
281	14:18	下	急行	N2000	10	-	-	-
282	14:20	上	急行	N2000	10	70	80.4	88.2
283	14:22	下	各停	30000	8	81	79.6	85.0
284	14:28	上	各停	N2000	8	54	73.3	82.8
285	14:29	下	急行	20000	10	80	73.3	82.3
286	14:30	上	急行	N2000	10	70	79.4	88.7
287	14:38	下	各停	20000	8	84	74.5	82.3
288	14:38	上	各停	20000	10	64	76.2	85.0
289	14:38	下	急行	6000	10	-	-	-
290	14:38	上	急行	30000	10	73	72.6	82.2
291	14:42	下	各停	N2000	8	59	78.0	85.7
292	14:47	上	各停	30000	8	54	71.3	78.0
293	14:48	下	急行	N2000	10	77	80.1	87.7
294	14:49	上	急行	30000	10	65	72.8	80.9
295	14:52	下	各停	20000	8	80	73.7	81.7
296	14:56	下	特急	10000	7	76	78.5	86.2
297	14:57	上	各停	30000	8	55	72.5	78.8
298	14:58	下	急行	2000	10	78	79.9	87.8
299	15:03	上	急行	N2000	10	76	81.0	90.2
300	15:03	下	各停	20000	8	86	74.2	82.1

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (7) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
301	15:04	上	特急	10000	7	22	70.3	79.5
302	15:08	下	急行	N2000	10	77	78.8	87.9
303	15:09	上	各停	N2000	8	51	74.9	83.0
304	15:10	上	急行	20000	10	74	76.3	84.2
305	15:12	下	各停	30000	8	81	75.7	82.1
306	15:18	上	各停	30000	8	52	66.7	75.7
307	15:19	下	急行	30000	10	80	74.6	82.2
308	15:23	下	各停	N2000	8	78	80.2	86.5
309	15:24	上	急行	2000	10	75	78.1	87.4
310	15:28	下	急行	30000	10	83	73.5	82.7
311	15:28	上	各停	20000	8	-	-	-
312	15:30	上	急行	N2000	10	63	79.0	87.2
313	15:32	下	各停	N2000	8	71	79.6	87.0
314	15:38	上	各停	30000	8	54	70.0	78.0
315	15:38	下	急行	N2000	10	77	79.4	88.5
316	15:39	上	急行	20000	10	68	75.1	82.8
317	15:42	下	各停	20000	8	79	74.0	81.8
318	15:48	上	各停	N2000	8	52	74.8	82.8
319	15:49	上	急行	6000	10	73	77.3	86.0
320	15:49	下	急行	20000	10	79	-	-
321	15:53	下	各停	30000	8	80	80.1	85.5
322	15:56	下	特急	10000	7	64	76.0	83.9
323	15:57	上	各停	30000	8	56	69.3	78.2
324	16:00	下	急行	N2000	10	77	78.2	87.0
325	16:00	上	急行	20000	10	64	73.9	82.6
326	16:04	上	特急	10000	7	53	76.8	85.5
327	16:04	下	各停	30000	8	82	75.4	83.0
328	16:08	下	急行	N2000	10	70	78.4	85.2
329	16:08	上	各停	20000	8	-	-	-
330	16:10	上	急行	20000	10	74	79.6	88.2
331	16:13	下	各停	N2000	8	77	79.5	87.4
332	16:15	上	各停	20000	8	55	69.0	78.3
333	16:18	下	急行	20000	10	78	73.3	81.6
334	16:19	上	急行	N2000	10	75	79.8	88.2
335	16:22	下	各停	30000	8	78	73.8	80.7
336	16:23	上	各停	30000	8	69	74.1	81.9
337	16:28	下	急行	6000	10	79	76.3	85.2
338	16:31	上	急行	30000	10	73	73.1	82.1
339	16:33	下	各停	20000	8	76	72.4	80.4
340	16:35	上	特急	10000	7	87	83.8	90.7
341	16:37	上	各停	20000	8	78	74.1	81.8
342	16:38	下	急行	20000	10	78	73.4	82.2
343	16:40	上	急行	N2000	10	75	80.1	89.0
344	16:42	下	各停	30000	8	80	74.2	80.9
345	16:44	下	特急	10000	7	68	76.0	84.5
346	16:45	上	各停	N2000	8	74	79.8	87.0
347	16:47	上	急行	30000	10	24	69.5	84.3
348	16:49	下	急行	N2000	10	73	78.4	86.4
349	16:49	上	回送	20000	10	-	-	-
350	16:52	上	各停	30000	8	73	71.4	79.5

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (8) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
351	16:53	下	各停	N2000	8	80	79.4	86.6
352	16:53	上	急行	N2000	10	-	-	-
353	16:58	下	急行	N2000	10	79	76.6	86.1
354	16:58	上	各停	30000	8	-	-	-
355	17:00	上	特急	10000	7	37	72.3	79.2
356	17:02	下	各停	30000	8	83	77.3	84.0
357	17:03	上	急行	30000	10	75	72.4	81.6
358	17:06	上	各停	N2000	8	74	79.8	86.8
359	17:07	下	急行	30000	10	83	74.9	84.8
360	17:08	上	急行	30000	10	-	-	-
361	17:12	下	各停	20000	8	79	74.6	82.2
362	17:13	上	各停	N2000	8	74	79.2	87.7
363	17:14	上	急行	N2000	10	28	74.2	83.2
364	17:16	下	特急	10000	7	71	76.8	84.8
365	17:18	下	急行	N2000	10	45	79.2	89.0
366	17:18	上	準急	2000	10	-	-	-
367	17:20	上	各停	30000	8	73	74.2	81.8
368	17:21	下	各停	20000	8	79	73.9	81.6
369	17:22	上	急行	20000	10	19	61.6	72.4
370	17:25	下	急行	30000	10	81	76.4	84.2
371	17:26	上	各停	N2000	8	68	77.1	85.6
372	17:29	下	各停	30000	8	79	75.7	85.1
373	17:29	上	特急	10000	7	-	-	-
374	17:30	下	拝島ライナー	40000	10	59	68.0	77.0
375	17:31	上	準急	N2000	10	71	80.1	88.7
376	17:35	上	急行	20000	10	69	73.7	82.9
377	17:36	下	急行	N2000	10	76	79.6	88.8
378	17:37	下	各停	30000	8	64	71.4	81.0
379	17:40	上	各停	30000	8	74	74.3	82.2
380	17:42	下	急行	30000	10	81	79.7	86.4
381	17:43	上	急行	N2000	10	73	80.0	88.5
382	17:43	下	各停	20000	8	64	70.5	78.6
383	17:45	上	各停	2000	8	72	79.1	87.1
384	17:47	下	準急	30000	10	77	72.5	80.0
385	17:48	上	準急	N2000	10	71	80.2	89.1
386	17:48	下	特急	10000	7	46	-	-
387	17:50	上	回送	40000	10	42	66.0	74.8
388	17:50	下	回送	N2000	8	55	72.8	81.7
389	17:52	上	各停	30000	8	71	73.5	82.0
390	17:54	上	急行	20000	10	71	79.2	89.6
391	17:54	下	急行	N2000	10	82	-	-
392	17:56	下	各停	N2000	8	65	73.7	82.5
393	17:59	上	各停	N2000	8	73	79.0	90.2
394	17:59	下	急行	2000	10	76	-	-
395	18:01	下	各停	30000	8	65	69.9	79.9
396	18:01	上	特急	10000	7	22	-	-
397	18:03	下	準急	20000	10	72	72.6	81.1
398	18:04	上	急行	2000	10	74	80.0	88.5
399	18:08	上	急行	6000	10	69	75.5	84.9
400	18:09	下	急行	N2000	10	75	79.4	88.1

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (9) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
401	18:10	上	各停	N2000	8	60	76.4	85.1
402	18:11	下	各停	30000	8	65	71.3	79.1
403	18:15	上	準急	6000	10	66	79.5	88.3
404	18:15	下	準急	20000	10	80	73.3	81.8
405	18:17	下	特急	10000	7	40	70.9	80.0
406	18:19	上	急行	30000	10	69	72.6	81.8
407	18:22	上	各停	20000	8	69	73.4	81.6
408	18:24	下	急行	2000	10	76	79.1	87.4
409	18:24	上	急行	2000	10	34	76.2	85.7
410	18:27	上	準急	30000	10	46	74.6	83.7
411	18:27	下	急行	N2000	10	-	-	-
412	18:28	下	各停	N2000	8	55	74.0	82.6
413	18:30	上	特急	10000	7	80	84.8	91.4
414	18:32	下	拝島ライナー	40000	10	79	71.5	80.3
415	18:32	上	準急	20000	10	68	73.7	83.1
416	18:35	上	各停	20000	8	41	70.1	78.2
417	18:35	下	急行	20000	10	79	73.1	82.2
418	18:37	下	各停	30000	8	68	72.0	79.7
419	18:39	上	準急	2000	10	77	80.0	88.3
420	18:41	上	各停	30000	8	51	69.6	77.9
421	18:41	下	急行	2000	10	75	79.9	87.6
422	18:43	下	各停	N2000	8	56	72.9	81.8
423	18:44	上	急行	N2000	10	84	80.2	89.4
424	18:45	上	回送	40000	10	21	62.9	74.5
425	18:47	下	準急	6000	10	65	76.1	84.9
426	18:49	下	特急	10000	7	46	68.8	78.3
427	18:52	上	準急	2000	10	76	79.6	88.8
428	18:54	上	回送	N2000	8	42	74.0	83.4
429	18:56	下	急行	2000	10	79	79.3	88.3
430	18:56	上	各停	30000	8	-	-	-
431	18:57	下	各停	2000	8	59	73.9	82.8
432	18:58	上	急行	30000	10	27	70.9	79.0
433	19:01	上	特急	10000	7	68	71.3	79.1
434	19:03	下	急行	30000	10	79	74.2	81.9
435	19:04	下	各停	30000	8	52	73.9	82.5
436	19:04	上	各停	30000	8	-	-	-
437	19:06	下	準急	2000	10	53	73.9	83.7
438	19:07	上	急行	N2000	10	48	75.4	85.3
439	19:11	上	急行	30000	10	64	72.9	81.8
440	19:11	下	急行	20000	10	79	73.9	82.5
441	19:13	下	各停	N2000	8	60	73.5	82.6
442	19:14	上	各停	20000	8	80	73.5	81.3
443	19:15	上	急行	2000	10	39	75.2	87.9
444	19:17	下	準急	N2000	10	85	79.3	87.5
445	19:17	上	回送	30000	10	29	68.3	79.7
446	19:18	下	特急	10000	7	51	68.0	71.5
447	19:23	上	準急	N2000	10	74	81.1	90.6
448	19:24	下	急行	N2000	10	74	78.8	87.9
449	19:25	下	各停	N2000	8	70	73.4	81.8
450	19:28	上	各停	30000	8	68	73.4	80.7

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (10) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火)から平成31年4月17日(水)まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
451	19:29	下	急行	N2000	10	80	79.0	87.5
452	19:30	上	急行	20000	10	-	65.8	75.4
453	19:31	下	拝島ライナー	40000	10	84	73.9	81.0
454	19:31	上	特急	10000	10	28	68.3	75.3
455	19:33	下	各停	20000	8	58	69.7	78.0
456	19:34	上	各停	N2000	8	88	79.1	86.8
457	19:37	上	急行	20000	10	63	72.4	81.5
458	19:39	下	急行	30000	10	80	76.8	84.0
459	19:39	上	回送	2000	10	52	77.1	86.8
460	19:40	下	各停	30000	8	68	70.5	78.5
461	19:42	上	各停	N2000	8	34	75.2	82.8
462	19:44	上	急行	2000	10	69	78.8	88.0
463	19:47	下	準急	N2000	10	74	79.6	88.7
464	19:48	下	特急	10000	7	46	63.2	73.1
465	19:50	上	急行	N2000	10	68	81.4	88.7
466	19:52	上	回送	40000	10	49	69.6	78.8
467	19:54	下	急行	30000	10	79	80.4	86.1
468	19:55	下	各停	30000	10	93	74.8	83.0
469	19:55	上	各停	30000	10	-	-	-
470	19:58	上	準急	N2000	10	70	78.8	88.1
471	20:01	下	急行	N2000	10	73	77.3	87.6
472	20:01	上	特急	10000	7	-	-	-
473	20:03	下	準急	N2000	10	76	79.2	88.0
474	20:08	上	準急	20000	10	71	77.0	85.7
475	20:08	下	急行	20000	10	-	-	-
476	20:09	下	各停	30000	8	66	71.0	79.0
477	20:10	上	各停	N2000	8	54	74.9	83.8
478	20:14	下	準急	20000	10	79	73.1	81.6
479	20:14	上	急行	N2000	10	73	80.0	88.6
480	20:15	下	特急	10000	7	48	70.7	80.1
481	20:17	上	各停	20000	8	66	73.3	81.0
482	20:18	下	回送	30000	10	84	72.0	79.5
483	20:20	上	準急	30000	10	73	72.3	81.4
484	20:23	上	急行	6000	10	76	81.3	89.8
485	20:24	下	急行	N2000	10	76	78.5	87.5
486	20:25	下	各停	20000	8	59	69.0	77.7
487	20:28	上	各停	30000	8	74	75.6	82.6
488	20:30	上	特急	10000	7	41	73.7	82.7
489	20:31	下	急行	N2000	10	76	79.2	87.9
490	20:32	下	拝島ライナー	40000	10	66	68.8	78.1
491	20:33	下	各停	N2000	8	64	75.5	83.7
492	20:34	上	各停	N2000	8	70	78.5	86.8
493	20:36	上	各停	N2000	10	33	75.0	82.9
494	20:40	下	急行	N2000	10	67	78.9	87.2
495	20:41	上	各停	2000	8	67	78.3	86.3
496	20:41	下	各停	30000	8	68	71.5	79.3
497	20:44	上	急行	20000	10	71	75.0	83.8
498	20:46	下	準急	20000	10	75	72.3	81.2
499	20:47	上	回送	2000	4	33	65.9	73.4
500	20:47	下	特急	10000	10	58	71.7	80.3

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (11) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
501	20:50	上	準急	N2000	10	74	79.1	87.8
502	20:51	上	回送	40000	10	33	66.7	76.3
503	20:54	下	急行	N2000	10	71	79.4	87.2
504	20:54	上	各停	N2000	8	77	80.1	88.2
505	20:55	下	各停	N2000	8	65	73.7	82.5
506	20:57	上	急行	N2000	10	74	80.3	89.3
507	21:00	下	急行	30000	10	77	72.2	80.6
508	21:01	上	特急	10000	7	70	79.4	85.2
509	21:01	下	各停	20000	8	67	70.7	78.9
510	21:04	上	各停	30000	8	79	75.0	81.9
511	21:07	下	急行	20000	10	78	79.2	88.4
512	21:07	上	急行	N2000	10	-	80.8	90.0
513	21:08	下	各停	30000	8	62	71.4	79.2
514	21:12	上	準急	30000	10	69	72.2	81.0
515	21:14	下	急行	N2000	10	77	79.8	87.7
516	21:15	下	特急	10000	7	59	79.9	86.7
517	21:16	上	各停	30000	8	69	70.9	79.5
518	21:17	下	各停	30000	8	63	72.1	79.9
519	21:19	下	回送	N2000	4	44	70.0	76.9
520	21:19	上	各停	30000	8	72	70.5	78.2
521	21:23	下	急行	20000	10	70	72.7	81.5
522	21:24	上	急行	N2000	10	73	80.7	90.4
523	21:25	下	各停	N2000	8	59	73.5	82.4
524	21:26	上	回送	N2000	10	33	74.5	83.0
525	21:29	上	準急	30000	10	44	72.1	84.2
526	21:29	下	準急	N2000	10	76	79.7	88.2
527	21:31	下	拝島ライナー	40000	10	55	67.7	76.6
528	21:32	上	特急	10000	7	53	76.7	84.6
529	21:36	上	急行	20000	10	73	74.4	83.3
530	21:38	下	急行	N2000	10	74	79.4	88.3
531	21:39	上	各停	20000	8	65	71.3	79.8
532	21:40	下	各停	30000	8	59	72.3	79.0
533	21:41	上	準急	20000	10	41	71.9	79.9
534	21:44	下	準急	N2000	10	75	79.8	88.8
535	21:45	下	特急	10000	7	63	69.7	77.7
536	21:49	上	準急	N2000	10	76	80.2	89.2
537	21:51	上	回送	40000	10	48	67.4	77.1
538	21:54	下	急行	30000	10	83	77.8	85.3
539	21:55	下	各停	2000	8	55	73.6	82.6
540	21:56	上	各停	30000	8	70	72.6	81.1
541	21:57	上	急行	N2000	10	24	65.7	78.0
542	22:00	下	急行	N2000	10	74	79.2	87.9
543	22:01	下	各停	N2000	8	54	73.2	82.0
544	22:02	上	特急	10000	7	87	85.3	92.0
545	22:05	上	各停	20000	8	72	74.3	81.9
546	22:06	下	急行	30000	10	81	80.0	86.9
547	22:07	上	急行	N2000	10	43	76.1	86.0
548	22:07	下	各停	N2000	8	-	-	-
549	22:11	下	各停	30000	8	71	71.2	79.3
550	22:13	上	各停	2000	8	63	77.8	85.6

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (12) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L _{Amax}	L _{AE}
551	22:13	下	準急	20000	10	76	73.1	81.5
552	22:15	下	特急	10000	7	59	73.3	82.1
553	22:16	上	急行	20000	10	75	76.2	83.9
554	22:18	上	回送	20000	8	28	67.7	75.8
555	22:21	上	各停	30000	8	56	71.7	80.1
556	22:22	上	急行	2000	10	17	72.7	83.6
557	22:23	下	急行	20000	10	-	-	-
558	22:24	下	各停	30000	8	67	69.7	78.1
559	22:29	下	急行	N2000	10	76	80.0	90.7
560	22:29	上	各停	N2000	8	-	-	-
561	22:30	下	拝島ライナー	40000	10	71	69.3	78.7
562	22:31	上	特急	10000	7	37	72.6	80.3
563	22:32	下	各停	30000	8	61	70.0	77.8
564	22:34	上	急行	6000	10	71	80.3	89.5
565	22:36	上	回送	30000	8	58	73.1	80.8
566	22:40	下	急行	N2000	10	75	78.8	87.7
567	22:41	上	準急	30000	10	62	71.0	80.8
568	22:42	下	各停	20000	8	51	68.0	77.2
569	22:47	下	特急	10000	7	82	80.2	90.2
570	22:47	上	準急	N2000	10	-	-	-
571	22:48	上	回送	40000	10	23	65.4	74.4
572	22:49	下	急行	N2000	10	74	79.1	87.5
573	22:50	下	各停	20000	8	62	69.6	77.9
574	22:51	上	各停	30000	8	49	69.3	78.1
575	22:54	上	急行	20000	10	70	74.7	83.2
576	22:55	下	急行	20000	10	78	73.5	82.1
577	22:57	下	各停	N2000	8	58	74.8	83.3
578	22:59	下	回送	40000	10	71	72.5	80.0
579	23:01	上	特急	10000	7	75	76.6	83.9
580	23:03	下	急行	N2000	10	78	79.9	87.8
581	23:03	上	各停	30000	10	78	72.8	81.3
582	23:04	下	各停	30000	8	62	71.1	79.1
583	23:06	上	準急	20000	10	37	70.7	79.6
584	23:07	上	回送	N2000	10	25	64.2	77.4
585	23:10	下	急行	20000	10	80	79.3	88.0
586	23:12	下	各停	20000	8	60	70.1	78.2
587	23:16	上	準急	N2000	10	70	80.3	89.2
588	23:17	下	特急	10000	7	78	80.0	86.9
589	23:18	上	各停	N2000	8	53	75.0	84.4
590	23:20	下	急行	30000	10	81	75.2	82.8
591	23:21	上	回送	N2000	10	74	80.4	89.6
592	23:21	下	各停	N2000	8	59	74.0	83.9
593	23:27	下	急行	N2000	10	75	79.9	87.7
594	23:29	下	各停	30000	8	63	71.2	78.9
595	23:30	上	特急	10000	7	81	85.3	91.6
596	23:32	上	準急	30000	10	69	70.9	80.0
597	23:35	上	各停	2000	8	72	74.0	81.8
598	23:36	上	回送	30000	10	32	66.7	74.7
599	23:37	下	急行	20000	10	68	73.7	81.8
600	23:38	下	各停	N2000	8	58	73.3	82.1

※ 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 2.1.4-3 (13) 鉄道騒音調査結果 (全列車)

調査地点：R-4

調査日：平成31年4月16日(火) から平成31年4月17日(水) まで

No.	通過時刻	上下別	列車種別	車両型式	編成両数(両)	列車速度(Km/h)	計画線最寄り軌道中心からの 水平距離12.5m 地上1.2m	
							L_{Amax}	L_{AE}
601	23:45	下	特急	10000	7	76	73.7	81.2
602	23:46	上	準急	N2000	10	73	80.5	90.2
603	23:50	下	準急	6000	10	75	76.1	84.9
604	0:00	上	準急	20000	10	70	74.9	83.1
605	0:01	下	準急	N2000	10	69	76.4	85.6
606	0:01	上	回送	20000	10	-	-	-
607	0:10	下	特急	10000	7	74	77.8	85.2
608	0:15	下	準急	30000	10	80	75.1	82.7
609	0:20	上	準急	N2000	10	74	80.4	89.2
610	0:32	下	準急	N2000	10	75	79.3	88.2
611	0:46	下	準急	20000	10	75	72.5	81.3
612	1:03	下	準急	N2000	10	76	79.9	88.2
全サンプル列車平均値				全列車		66	76.8	85.1
				上り列車		73	77.0	85.4
				下り列車		59	76.5	84.7
等価騒音レベル(L_{Aeq})				昼間		65		
				夜間		61		

※1 表中「-」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

※2 単発騒音暴露レベルの平均値は、パワー平均である。